



録画配信はこちら

高橋 正夫 議員

国スポ・障スポが心に 残る大会となるために

Q 子どもたちの学びや育ちに生かすための考えは

A ボランティアスタッフや観光ガイドを子どもたちが務めることも

答 (国スポ・障スポ開催準備室長) 啓発物品の選定、庁舎入口

問 本大会を大成功に導くには、町全体での盛り上がりが必要である。町内の気運醸成をどのように図っていくのか問う。

答 (国スポ・障スポ開催準備室長) リハーサル大会である近畿高等学校選手権大会の令和6年度開催に向け、実行委員会に総務企画、競技式典、宿泊衛生、輸送交通の4つの部会を設置した。今後、専門的な議論を深め、令和7年度の本大会に向け、取り組みたい。

問 国スポ、障スポ大会の開催まで2年余りとなり、いよいよ本格的な準備を進めていく段階に入ったと考えるが、本町としては、現在どこまでの準備が進んでいるのか。

答 (国スポ・障スポ開催準備室長) 令和5年3月の町実行委員会設立総会を契機として本格的な取り組みをスタートさせた。

国スポ・障スポの 準備状況

での展示、国道8号沿い企業の協力による特大電光掲示板での国スポ・障スポ開催周知に取り組んでいる。

問 また、町内から国スポ選手の輩出を目指して、元シドニーオリンピックコーチを招き、選手育成にも取り組み、県のアーチェリー競技強化選手を輩出した。

答 (国スポ・障スポ開催準備室長) 前回のびわこ国体と同じ施設で行うことの強みを生かして、2巡目国体として大会成功に向けた町全体の機運醸成に取り組みたい。

問 多くの方が来町されると思うが、宿泊施設があまりない当町において、宿泊施設をどのように手配するのか問う。

答 (国スポ・障スポ開催準備室長) 選手や監督の宿泊施設の手配については、わたSHIGA A輝く国スポ合同配宿業務として、滋賀県全体を進めていく。現在、県において合同配宿業務の委託業者の選定を行っているところである。



アーチェリー競技啓発ブース(秦荘庁舎)

国スポ・障スポと 町づくり

問 2025年の大会が、町の未来を担う小学生や中学生の心に深く刻まれる大会となつてほしいと願っている。大会を町内の子どもたちの学びや育ちに生かすための考えを問う。

答 (教育長) 大会にボランティアとして子供たちが参加・参画することで、地域社会における自分

答 (教育長) 事前に十分な協議を行い、子どもたちの願いや思い、質問を作成するにあたってのプロセスまでも、いろいろ想起しながら、その答弁を考えている。決して子どもたちのモチベーションが下がることのないように、今後ケースバイケースで対応する。

問 この大会を通じて町民との関わりについて、町長の意気込みを伺う。

答 (町長) 全国からの来町者を迎えるため、会場や沿道を花でもてなす運動を展開したい。町民にも様々な競技のスポーツボランティアとして町内外で関わりを持っていただきたい。さらに、子ども達が自らのアイデア等で来町者をおもてなしできるように、その仕掛け等の検討を行っている。スポーツを通じた共生社会の実現を目指すとともに、交流やネットワークが地域づくり・ひとづくり・絆づくりのベースとなり、町の活性化につながるよう取り組みたい。

政治参加への機運を 高める子ども議会

Q 町長や教育長が答弁し、生の声を子どもたちに届けるべき

A 教育現場からリクエストがあれば、都度柔軟に対応



録画配信はこちら

久保田 正利 議員

選挙投票率向上に 向けて

問 合併直後に実施された町長・町議会選挙や同時期の国政選挙、県知事選挙、県議会議員選挙と比べ、直近に実施された選挙はいずれも投票率が低い。県内で投票率が高い市町はどこか問う。

答 (総務政策監) 令和4年7月10日執行の知事選挙は、竜王町66.57%、多賀町64.70%、高島市61.99%。本町は53.07%で、19市町中15位である。

問 令和5年4月9日執行の県議会議員選挙は、日野町56.04%、多賀町55.66%、竜王町53.12%。本町は44.36%で、19市町中8位である。

問 投票率を高めるための全国的な成功例を問う。

答 (総務政策監)

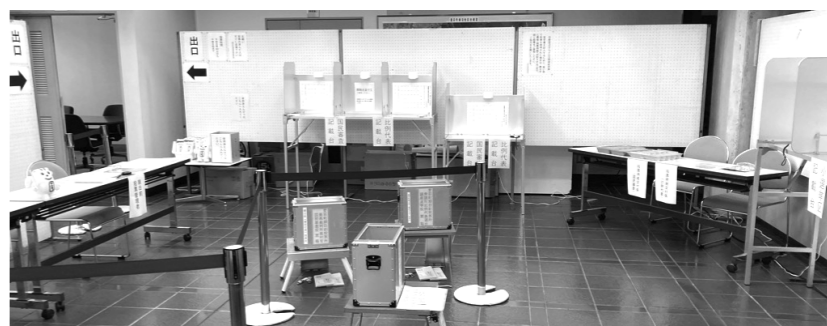
商業施設や大学等での期日前投票所の開設、期日前投票所の投票時間の弾力化、投票所への移動支援、共通投票所の導入などがあると承知している。その他、地域のデザイナーが作成した投票済証をコレクションとして楽しめるものや、飲食店や小売店等で割引などのサービスが受けられる選挙割などの取り組みがある。

問 本町は期日前投票率が高いように思うが、期日前投票率が高い要因と、さらに期日前投票率を高めるためにどのような取り組みを今後実施するのか問う。

答 (総務政策監)

本町は期日前投票の割合が県内市町の中でも高い傾向にある。これは、選挙当日に想定外の出来事による棄権リスクを回避するため、新型コロナウイルス感染症予防対策として密を避けるため、期日前投票を重点的に啓発したことなどが考えられる。

問 子ども議会は、良い取り組みである。しかし、答弁が所管課の課長補佐であり、町長や教育長の生の声での答弁が児童生徒は聞けない。政治参加への機運を高めるため、町長や教育長が答弁し、生の声を子どもたちに届けるべき



秦荘庁舎の期日前投票所

引き続き、広報や街頭啓発を早期から行うなど、誰もが投票しやすい環境づくりに努める。

答 (町長) 当日の議事日程は、教育長から子ども議会への趣旨説明、私からは挨拶と行政説明を実施し、子ども議員と直接のコンタクトを取っている。

答 (町長) 現在、答弁を各課の参事や課長補佐が行っている点は、子ども議会の副次的な機会として、これからの町行政を担う職員にとっても、議会での答弁を学び経験する貴重な人材育成の場として、子ども議会の開始当初から行っているものである。

答 (教育長) 今後、教育現場からリクエストがあれば、都度柔軟に対応を考える。